

(抄訳)

**AIG は、メイデン・レーン III における借入れが全額返済されたことを確認**

**これまでに米国政府が承認した AIG への援助は 1,520 億ドル以上減額**

ニューヨーク、2012 年 6 月 14 日ーアメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）は、本日、ニューヨーク連邦準備銀行（「NY 連銀」）が近日、特定のメイデン・レーン III エルエルシー（「ML III」）の資産の競売を完了させた結果、NY 連銀に対する ML III における借入残高が全額返済されたと確認しました。ML III における借入れは、AIG が責任を負わないノン・リコース・ローンであり、融資枠の利息および元本の支払いならびに資産の流動化によるキャッシュ・フローにより返済されていました。

AIG のプレジデント兼 CEO のロバート・H・ベンモシエは以下のように述べました。「NY 連銀に対する ML III における借入れを返済したことにより、また一つ、AIG の変革は大きく進展しました。我々は、連邦準備銀行および米国財務省における我々のパートナーが、より有利に米国政府の AIG に対する投資を減らすために進展し続けてくれたことを大変心強く感じています。」

これまでに、AIG は、NY 連銀クレジット融資枠、AIA SPV の優先持分、およびアメリカン・ライフ・インシュアランス・カンパニー（「アリコ」）SPV の優先持分を全て返済しました。更に、米国財務省の AIG 普通株式への出資は 175 億ドル減額され、メイデン・レーン II および III における借入れは全て返済されました。連邦準備銀行は、メイデン・レーン II（「ML II」）のポートフォリオを売却したことにより、30 億ドル近くを受領し、さらには、現在の市場価格に基づき、ML III ポートフォリオが全て清算された際には同じ程度の額を受領する可能性があります。

米国政府が承認した AIG への援助の最高額は 2008 年には 1,820 億ドルに達し、そのうちの 210 億ドルは未使用、もしくは枠組み自体が解消されました。返済、払い戻し、引き換え、売却およびその他の活動を通して、米国政府による AIG への援助の合計借入残高は、83 パーセント、すなわち 1,520 億ドル減額し、残る投資は、米国財務省が保有する約 300 億ドル相当の AIG 普通株式となりました。1,520 億ドルの減額は、当初承認された援助に対する減額のみを含むものであり、連邦銀行が、これまで ML II について得た利益または ML III について得ることが予想される利益は含まれていないという点に留意ください。

# # #

AIG グループは世界の保険業界のリーダーであり、130 以上の国で顧客にサービスを提供しています。AIG グループ各社は、世界最大級のネットワークを通して個人・法人のお客様に損害保険商品・サービスを提供しています。さらに、AIG グループ各社は、米国における生命保険事業及びリタイアメント・サービスの主要な事業者です。AIG の普通株式はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場されています。

# AIGに対する米国政府による公的支援の返済状況

